

装蹄師認定講習会
入講者選抜要項
受講生募集要項

2027年度
(令和9年度)



公益社団法人 日本装削蹄協会
JAPAN FARRIERY ASSOCIATION

I. 認定装蹄師認定講習会入講者受入の基本方針

1. 講習会概要

装蹄師は、馬の肢蹄の健康を通して、個々の馬の持つ能力を十分に発揮させることで安定的な馬の福祉に貢献するという理念に基づき、本講習会では高度で専門的な馬の護蹄技術と知識を教育することで、社会全体に対して馬とヒトとの良好な共生社会の発展を促すと同時に、国際的な護蹄管理環境や技術・知識にも対応できるような人材の育成をおこないます。

(1)講習期間（予定）

令和9年4月7日（水）から令和10年2月18日（金）まで

(2)主な講習場所

公益社団法人日本装削蹄協会 装蹄教育センター

（〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町1829-2）

2. 入講者に求める資質

肢蹄の健康を通して馬が本来持つ能力を十分に発揮させることで、馬とヒトとの共生社会に貢献することを目的とするため、次のような人物を受講者として求めます。

- ①馬の装蹄技術と知識を学ぶ意欲があり、その学力と能力を有する人
- ②馬の運動機能や病態に関する課題に関心を持ち、論理的に解決する思考力を有する人
- ③馬の運動機能や生活の改善のための肢蹄管理および臨床応用のための理論と技術に関心を持ち、実践を目指すために意欲のある人
- ④馬関係業界における国際的な交流に関心を持ち、国際的な協力の推進に貢献する意欲のある人
- ⑤装蹄技術と知識の習得と研鑽に努め、2級認定装蹄師の資格を取得して、日常の装蹄業務および馬の護蹄管理を通じて社会に貢献する意欲のある人
- ⑥人や動物に対する思いやりや動物への福祉に関心を持ち、多様な人々と協働しながら社会に貢献する意欲のある人

3. 入講者選抜の基本方針

- (1)一般教養試験や作文などで、基本的な学力、思考力、論理的判断力を評価します。
- (2)面接試験および提出書類で、関心、意欲、態度、協調性、表現力を評価します。
- (3)体力試験で技術的な基礎能力を評価します。

Ⅱ. 募集人員および入講者選抜方法等

1. 募集人員

20名以内（全寮制：本会付属八汐寮）

2. 受講資格

令和9年4月1日時点で満18歳以上の者であって本会の入講選考試験に合格した者

（注：外国籍の者は、出願手続申請をする前に問い合わせ下さい。）

3. 選抜方法と試験実施要項等

1) 特色選抜試験

(1) 募集人員

令和9年度装蹄師認定講習会募集人員（20名の予定）の10%以内

(2) 受験資格

次の①～④のすべてに該当し、指定期間内に本会に届け出た者^{※1}で、合格した場合に入講を確約できる者。

①令和8年度までの装蹄師認定講習会入講選考試験を受験した者（過去の入講試験で合格した者を除く）

②指導級認定装蹄師の下で一定期間（のべ21日間）以上の研修または実務（就労）を行った者

③研修あるいは就労先の指導級認定装蹄師が発行する研修・就労の証明書（本会指定の研修評価シート）^{※2}を得られる者

④日本の高等学校を卒業した者または高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）に合格した者

※1：令和8年1月26日～令和8年2月20日の期間に本会ホームページのお知らせから「出願登録リンク先」で登録を行い、本会が登録を受理した者。

※2：指導を受けた指導級装蹄師が記載し、封印して直接日本装蹄協会へ送付したもの。

(3) 試験科目

①筆記試験（作文）

②面接試験（口頭試問を含む）^{※3}

③体力試験

※3：面接試験では、本会が入講者に求める資質に適合するかを総合的に評価するとともに基本的な装蹄にかかわる知識を問う口頭試問も含まれます。

(4) 試験日と会場

試験日：令和8年5月25日（月）

試験会場：本会本部（東京都新橋）

(5)選抜方法

試験科目の結果および提出書類を総合的に判断し合否を判定

(6)出願手続き※⁴

※ 4 : (2)の受験資格を有し、本会が登録を受理した者が対象となります。

①出願受付期間

令和8年4月1日(水)～4月30日(木)〔最終日の消印有効〕

②出願方法

③の入講試験受験料を振込後④に記載した出願書類一式を「簡易書留またはレターパック」にて「本会装蹄教育センター」へ郵送して下さい。

一度提出した書類および納入した受験料は、原則として返還いたしません。

③入講選考試験受験料および振込方法等

i)受験料：24,000円(税込)

ii)振込方法：本会指定の振込用紙でお支払い下さい(ゆうちょ銀行)。支払いは、①の「出願受付期間」内であればいつでも可能です。なお、家族や知人が代理で払込手続きをする場合でも、必ず受験者本人の情報を記入してください。

④提出書類等

i)入講選考試験受験願書

本会指定の用紙に必要事項を記載し、所定欄に顔写真(縦4cm、横3cm、3ヵ月以内に撮影したもの)を貼付して提出してください。

ii)履歴書

本会指定の用紙に必要事項を記載し、所定欄に顔写真(縦4cm、横3cm、3ヵ月以内に撮影したもの)を貼付して提出してください。

iii)受験票

本会指定の用紙に必要事項を記載し、所定欄に顔写真(縦4cm、横3cm、3ヵ月以内に撮影したもの)を貼付して提出してください。

iv)健康診断書

医療機関で健康診断を受け、本会指定の用紙に必要事項の記載を受けてください。

v)卒業証明書または卒業見込証明書(最終学歴のもの)

最終学歴の学校の卒業(見込)証明書を提出してください。

vi) 調査書^{※5}

出身高等学校の所定の用紙を用い、学校長が証明し、厳封されたものを未開封のまま提出してください。高等学校在校生の場合は、2年生までの内容のものでも受け付けます。なお、最終学歴が中学校卒業の場合は、出身中学校のものを提出してください。また、卒業後の経過年数によって調査書を取得できない場合は、出身高等学校が発行する「証明書」を提出してください。成績証明書は受け付けません。

※5：出願受付期間内の提出を原則としますが、出身高等学校等の都合により、期間内の提出が難しい場合は、速やかに本会装蹄教育センターにご連絡ください。

vii) 健康状態確認用紙

viii) 入講希望者エントリーシート

ix) 研修評価シート^{※6}（研修・就労先装蹄師から提出）

※6：本会より研修・就労先の指導級装蹄師に所定の用紙を直接送付し、記載していただくため、受験者が提出する必要はありません。

注意1：i・ii・iiiに使う顔写真については同じものを使用してください。

注意2：出願の際に提出した書類の記載等に虚偽があった場合は、不正行為とみなし、入講試験の結果を無効にすることがあります。なお、その場合でも提出された書類および受験料は返還いたしません。

⑤ 受験票等の発送

出願に必要な提出書類および受験料の納入を確認し、受験資格を満たしている者には、レターパックにて受験票を郵送します。試験日の3日前になっても受験票がお手元に届かない場合は、本会装蹄教育センターまでお問い合わせください。試験実施の詳細についても受験票の発送とともにご案内いたします。

なお、受験票は、試験当日に必要となりますので、大切に保管してください。

(7) 結果の通知

特色選抜試験の結果は、可否に関わらず、以下の通知期間内に本人あてに郵便にて通知します（電話やメールによる可否結果の照会はお受けできません）。

通知期間：令和8年6月8日（月）～6月19日（金）

2) 一般選抜試験

(1) 募集人員

令和9年度装蹄師認定講習会募集人員（20名の予定）から特色選抜試験での合格者を除いた人数

(2) 受験資格

令和9年4月1日時点で満18歳以上の者

(3) 試験科目と内容

① 一般教養試験^{※7}

② 面接試験

③ 体力試験

※7：一般教養試験では、外部試験業者（株式会社日本経営協会総合研究所）の作成した「基本能力試験」（SCOA）を活用します。具体的な試験内容は、「言語」「数理」「論理」「一般常識」「基礎英語」5つの分野から120問が出題され、解答時間は60分です。なお、一般常識の出題範囲は理科（物理、化学、地学、生物）と社会（日本史、世界史、地理、政治経済など）となります。

試験会場は、全国47都道府県のテストセンターとなります。

詳細については、出願を受け付けた方に郵送する書類をご覧ください。

(4) 試験日と会場

① 第1回試験^{※8}

※8：特色選抜試験および第1回試験で募集定員に達した場合は、第2回試験は実施しません。

i) 一般教養試験

試験日：令和8年8月1日（土）

試験会場：受験者が予約したSCOAのテストセンター（(3)の※7を参照）

ii) 面接試験および体力試験

試験日：令和8年9月5日（土）・6日（日）^{※9}

試験会場：（公社）日本装削蹄協会 装蹄教育センター（宇都宮）

※9：本会が指定した、どちらか一方の日に試験を実施します。詳細は、i) 一般教養試験の受験後、本会より送付する案内をご確認ください。受験者は試験日を指定できませんので、ご承知おきください。

② 第2回試験

第1回試験で入講者が定員20名に達しない場合は、第2回試験を実施します。

第2回試験の詳細については、第2回試験の実施が決定した後にホームページ等に掲載します。

(5)選抜方法

①総合判定：合否判定方法

一般教養試験^{※7}、面接試験、体力試験の結果および提出書類等の内容を総合判定して合格者を決定します。なお、面接では、本講習会の入講者に求める資質に適合するかなどについて総合的に評価し、評価が著しく低い場合は、その他の試験結果に関わらず不合格とすることがあります。

②2段階選抜の実施

入講志望者が募集人員に対して2倍を超えた場合は、8月1日（土）の「一般教養試験^{※7}」の成績により第1段階選抜を行い、その合格者に対して面接試験および体力試験を行います。

ただし、第1段階選抜をおこなう倍率を緩和する場合があります。

(6)出願手続き

①出願受付期間

令和8年7月1日（水）～7月17日（金）[最終日の消印有効]

②出願方法

③の入講試験受験料を振込後④に記載した出願書類一式を「簡易書留またはレターパック」にて「本会装蹄教育センター」へ郵送して下さい。

一度提出した書類および納入した受験料は、原則として返還いたしません。

③入講選考試験受験料および振込期間等

i) 受験料：24,000円（税込）

ii) 振込方法：本会指定の振込用紙でお支払い下さい（ゆうちょ銀行）。支払いは、①の「出願受付期間」内であればいつでも可能です。なお、家族や知人が代理で払込手続きをする場合でも、必ず受験者本人の情報を記入してください。

④提出書類等

i) 入講選考試験受験願書

本会指定の用紙に必要事項を記載し、所定欄に顔写真（縦4cm、横3cm、3ヵ月以内に撮影したもの）を貼付して提出してください。

ii) 履歴書

本会指定の用紙に必要事項を記載し、所定欄に顔写真（縦4cm、横3cm、3ヵ月以内に撮影したもの）を貼付して提出してください。

iii) 受験票

本会指定の用紙に必要事項を記載し、所定欄に顔写真（縦 4 cm、横 3 cm、3 ヶ月以内に撮影したもの）を貼付して提出してください。

iv) 健康診断書

医療機関で健康診断を受け、本会指定の用紙に必要事項の記載を受けてください。

v) 卒業証明書または卒業見込証明書（最終学歴のもの）

最終学歴の学校の卒業（見込）証明書を提出してください。

vi) 調査書^{※5}

出身高等学校の所定の用紙を用い、学校長が証明し、厳封されたものを未開封のまま提出してください。高等学校在校生の場合は、2 年生までの内容のものでも受け付けます。なお、最終学歴が中学校卒業の場合は、出身中学校のものを提出してください。また、卒業後の経過年数によって調査書を取得できない場合は、出身高等学校が発行する「証明書」を提出してください。成績証明書は受け付けません。

vii) 健康状態確認用紙

viii) 入講希望者エントリーシート

注意 1 : i・ii・iii に使う顔写真については同じものを使用してください。

注意 2 : 出願の際に提出した書類の記載等に虚偽があった場合は、不正行為とみなし、入講試験の結果を無効にすることがあります。なお、その場合でも提出された書類および受験料は返還いたしません。

⑤ 受験票等の発送

出願に必要な提出書類および受験料の納入を確認し、受験資格を満たしている者には、レターパックにて受験票を郵送します。試験日の 3 日前になっても受験票がお手元に届かない場合は、本会装蹄教育センターまでお問い合わせください。試験実施の詳細についても受験票の発送とともにご案内いたします。

なお、受験票は、試験当日に必要となりますので、大切に保管してください。

(7) 結果の通知

一般選抜試験の結果は、合否に関わらず、以下の通知期間内に本人あてに郵便にて通知します（電話やメールによる合否結果の照会はお受けできません）。

通知期間：令和 8 年 9 月 1 5 日（火）～9 月 2 5 日（金）

Ⅲ. 入講手続きの概要

1. 入講手続

以下の(1)および(2)の手続きを、それぞれ所定の期間内に行ってください。手続方法等の詳細については、合格者に送付される「入講手続の手引き」を参照してください。

なお、指定した期間内に入講手続きを完了しないときは、入講を辞退したものとみなして処理します。

(1)受講料等の納入

受講料等は、2の納入期間内に振込を行ってください。振込先の口座等については、「入講手続の手引き」を参照してください。

なお、一度納入した受講料等は、原則として返還いたしません。

(2)入講手続書類の提出

合格者には入講手続書類を郵送しますので、必要書類等を揃えた上で本会装蹄教育センターに提出してください。

2. 受講料等の経費

1) 特色選抜試験合格者

	金額	納入期間	納付先
受講料振込先	840,000円 (税込)	令和8年 7月27日(月) ～8月28日(金)	ゆうちょ銀行
講習実費	200,000円	令和9年 1月18日(月) ～3月12日(金)	足利銀行

2) 一般選抜試験合格者

	金額	納入期間	納付先
受講料振込先	840,000円 (税込)	令和8年 9月28日(月) ～10月30日(金)	ゆうちょ銀行

講習実費	200,000円	令和9年 1月18日(月) ～3月12日(金)	足利銀行
------	----------	-------------------------------	------

※講習実費の所要額 55 万円のうち、令和9年度は地方競馬全国協会畜産振興補助事業により、講習会用具・実習着等が補助されますので、納付いただく額は 20 万円となります。

(1) 受講料は 2 回に分割して納入することも可能です。その際、初回は入講時の納入期間内に、残金は入講後の令和9年9月末日までに納入してください。また、分割納入する方は、入講手続きで「同意書」の提出が必要となります。詳細については、装蹄教育センターまでお問い合わせください。

なお、一度納入した受講料は、原則として返還いたしません。

(2) 上記とは別に、「寮内生活費」として講習日の食費（朝食、昼食、夕食）および受講者が使用する個室の電気料金が必要となります。寮内生活費は、毎月、寮管理委託会社が計算した料金を、受講者自身が同社に直接支払うことになります。

3. その他

(1) 関連団体の奨学金制度について

本講習会の入講選考試験に合格した方は、(公社)競走馬育成協会が実施する「修学奨励金(奨学金)」の交付を申請することができます。この奨学金の交付要件等の詳細については、競走馬育成協会に直接ご確認ください。

公益社団法人 競走馬育成協会

〒105-0004 東京都港区新橋 4-5-4 日本中央競馬会新橋分館 4F

TEL 03-6809-1821

(<http://www.ttda.or.jp/business/subusidy.html>)

なお、その他の団体等が実施している奨学金制度については、合格者各自でご確認ください。

(2) 個人情報の取扱いについて

受験願書等の提出された書類に記載された個人情報については、本会の個人情報保護に関する規程に基づき適正に管理するとともに、入講選考試験事務に限り使用します。

なお、受験を辞退した場合、出願手続き時に提出いただいた書類については、返却いたしません。

(3) 入講試験等の情報提供について

本会装蹄教育センターまでお問い合わせ下さい。

公益社団法人 日本装削蹄協会 装蹄教育センター
〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町1 8 2 9 - 2
TEL 028-648-0007